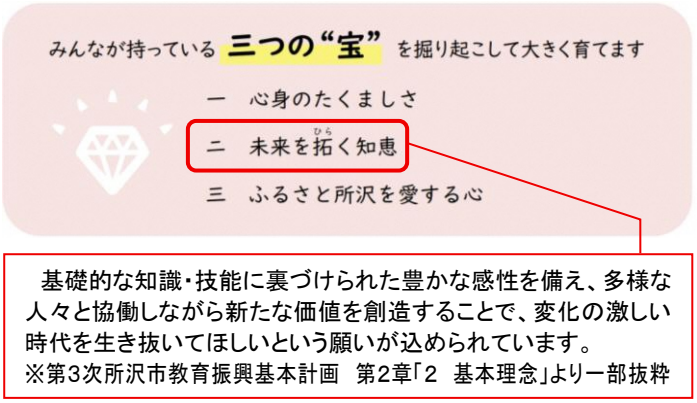
「未来を拓く知恵」を育む～児童生徒質問紙調査より～

NEW！

所沢市の教育は、児童生徒が持つ“三つの宝”を掘り起こし、大きく育てることを基本理念としています。そのうちの一つが「未来を拓く知恵」です。本資料は、埼玉県学力・学習状況調査の結果を、狭義の「学力のレベル」や「正答率」だけで捉えるのではなく、学習指導の充実に加え、児童生徒の「未来を拓く知恵」をどのように育成していけばよいのかを考察するため、「児童生徒質問紙調査」の結果と組み合わせて分析したものです。

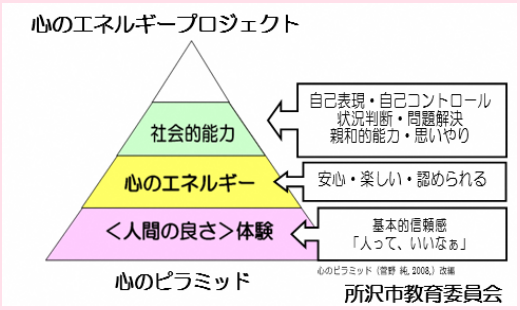


1．未来を拓く知恵を育む「３要素」

1）自己肯定感

「I am OK！今の自分はこれでいいんだ」
→　存在そのものを認められること

「心のピラミッド」の土台に位置する基本的信頼感や安心の蓄積によって育まれます。





2）自己効力感

「自分ならもっとできる」
→　それが実行できるという期待と自信

課題に対処する意欲や行動力として発揮され、「心のピラミッド」の上層にある社会的能力と密接に関連しています。

3）主体的・対話的で深い学び

㊦…学ぶことに見通しをもって粘り強く取り組む
㊦…子ども同士の協働等を通じ、考えを深める
㊦…知識を相互に関連付け、より深く理解する

多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓きます。

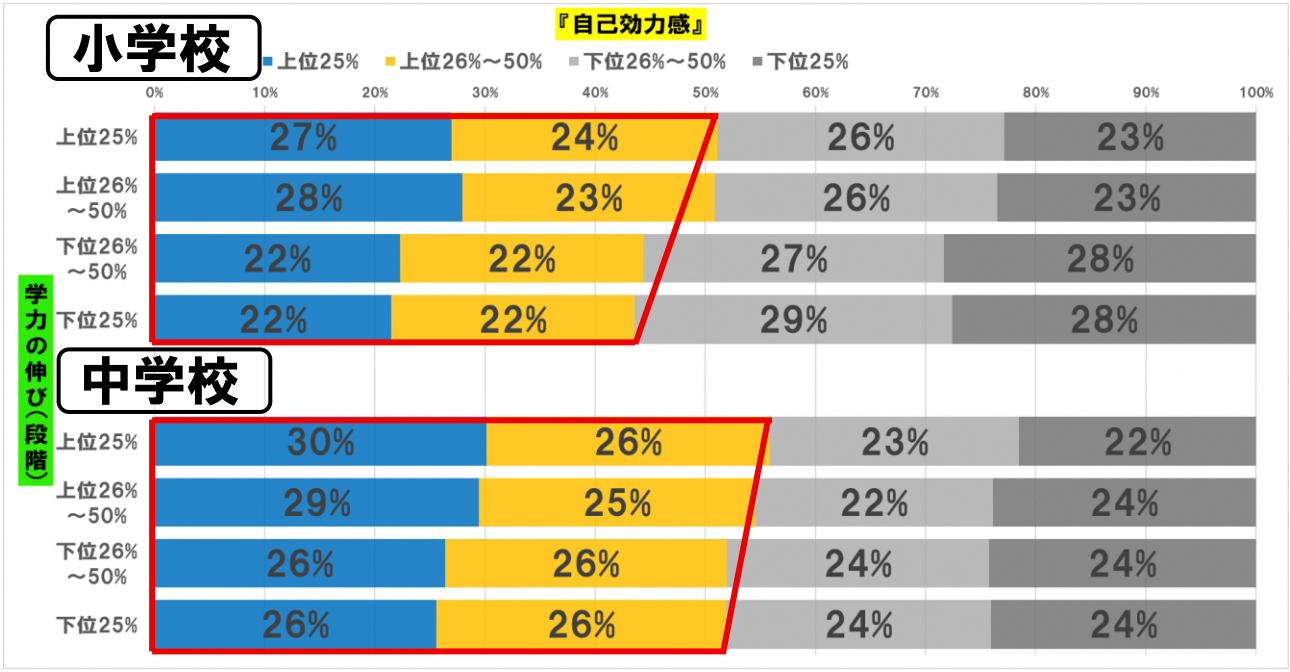
『1）自己肯定感』・『2）自己効力感』・『3）主体的・対話的で深い学び』の３要素は、互いに良い影響を与え、高め合っていく相互関係があり、変化の激しい時代を生き抜く『未来を拓く知恵』を育むものと考えています。

2．資料からわかる『所沢市』の傾向

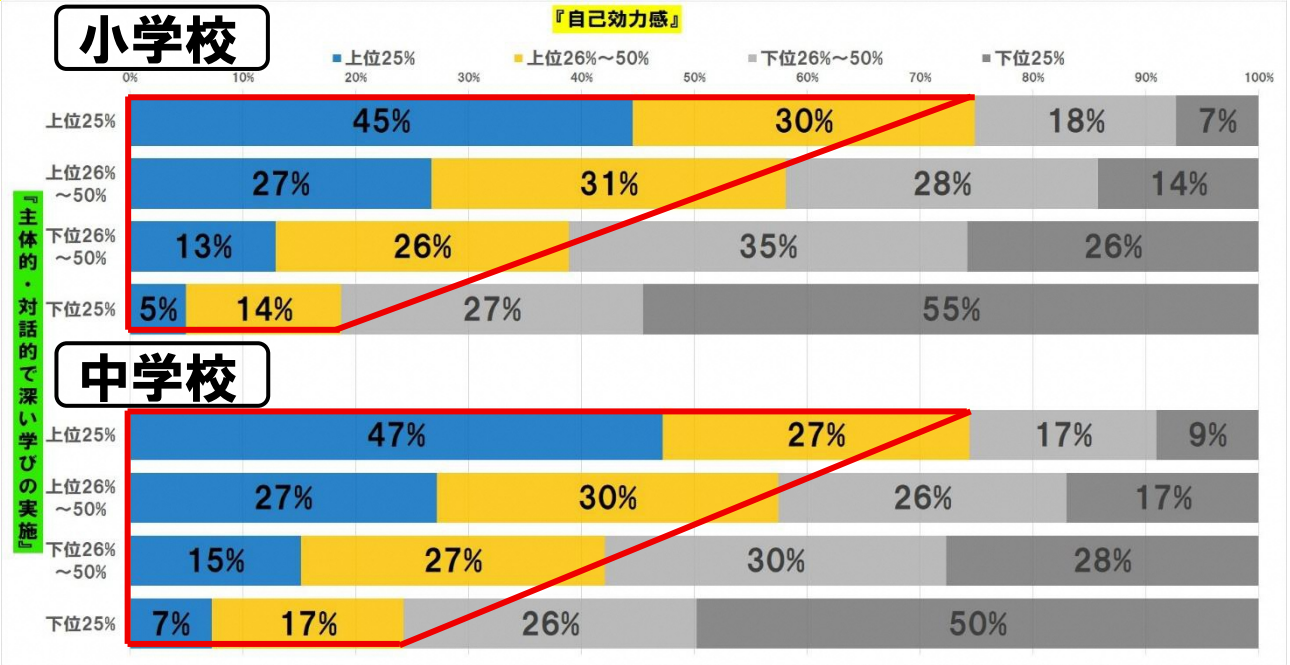
『自己効力感』と『学力の伸び』・『主体的・対話的で深い学び』の関連性

小・中学校ともに、
「学力の伸び」の上位の児童生徒や「主体的・対話的で深い学び」がよく実施されていると回答している児童生徒において、自己効力感に関わる質問に、肯定的な回答している傾向が強い
ことがわかります。

『自己効力感』と『学力の伸び』のクロス集計結果



『自己効力感』と『主体的・対話的で深い学び』のクロス集計結果



※市内全校のデータより作成

今後も、児童生徒を自ら主体的に学ぶ存在であると信じて、「心のエネルギープロジェクト」等を継続し、児童生徒の自己肯定感を育みながら、何事にも主体的に挑戦できる自己効力感の醸成を図ることが重要です。